

平成 26 年 9 月 24 日

報道関係各位

独立行政法人 国立科学博物館

企画展「ヨシモトコレクションの世界～W.T. ヨシモト氏の人生の軌跡を探る～」

開催およびプレスおよび関係者内覧会実施のお知らせ

国立科学博物館（台東区上野公園、館長：林良博）におきましては、このたび下記のとおり 10 月 15 日（水）から、**企画展「ヨシモトコレクションの世界～W.T. ヨシモト氏の人生の軌跡を探る～」**を開催いたしますので、お知らせいたします。

また、本企画展のオープンに先立ち **10 月 14 日（火）に、別添のとおりプレスおよび関係者内覧会を実施いたします**ので、併せてご案内申し上げます。

国立科学博物館は、10 月 15 日（水）から 1 月 18 日（日）の期間で、企画展「ヨシモトコレクションの世界～W.T. ヨシモト氏の人生の軌跡を探る～」を開催いたします。

大型哺乳類の剥製およそ 400 点からなる国立科学博物館の「ヨシモトコレクション」。ハワイで日系二世の実業家として成功を収め、このコレクションを築いたワトソン・T・ヨシモト氏の没後 10 年にあたって、その生涯と、コレクションを構築した経緯について氏の残した標本や資料を紹介するとともに、国立科学博物館によるコレクションの調査研究成果を展示します。また、野生生物の姿を記録することの重要性、ヨシモト氏がたどり着いた野生動物保護の精神についても考えます。

つきましては、展示のオープンに先立ち、**10 月 14 日（火）午後 3 時 00 分～5 時 00 分の間、プレスおよび関係者内覧会**を実施いたしますので、取材・記事の掲載など本企画展の広報に関して特段のご支援・ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

記

【会 場】国立科学博物館（台東区上野公園 7-20）日本館 1 階 中央ホール、企画展示室

【開催期間】平成 26 年 10 月 15 日（水）～平成 27 年 1 月 18 日（日）

【入 館 料】常設展示入館料のみでご覧いただけます。

（一般・大学生：620 円（団体 310 円）高校生以下および 65 歳以上無料※団体は 20 名以上）

【休 館 日】毎週月曜日（月曜日が祝休日の場合は火曜日）、12 月 28 日（日）～1 月 1 日（木・祝）
ただし 12 月 22 日（月）、1 月 5 日（月）は開館

【主 催】独立行政法人 国立科学博物館

【協 力】W.T. ヨシモト財団

【学術協力】東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻矢口研究室

【展示概要】別添の「展示の概要」にてご紹介します。

企画展「ヨシモトコレクションの世界～W.T. ヨシモト氏の人生の軌跡を探る～」

プレスおよび関係者内覧会のお知らせ

平成 26 年 10 月 14 日（火）午後 3 時 00 分～／上野・国立科学博物館

国立科学博物館では、企画展「ヨシモトコレクションの世界～W.T. ヨシモト氏の人生の軌跡を探る～」の開催に先立ち、下記のとおりプレス内覧会を実施いたします。

当日は、担当研究者による展示解説も行いますので、ぜひご参加いただき、記事として取り上げていただければ幸いです。

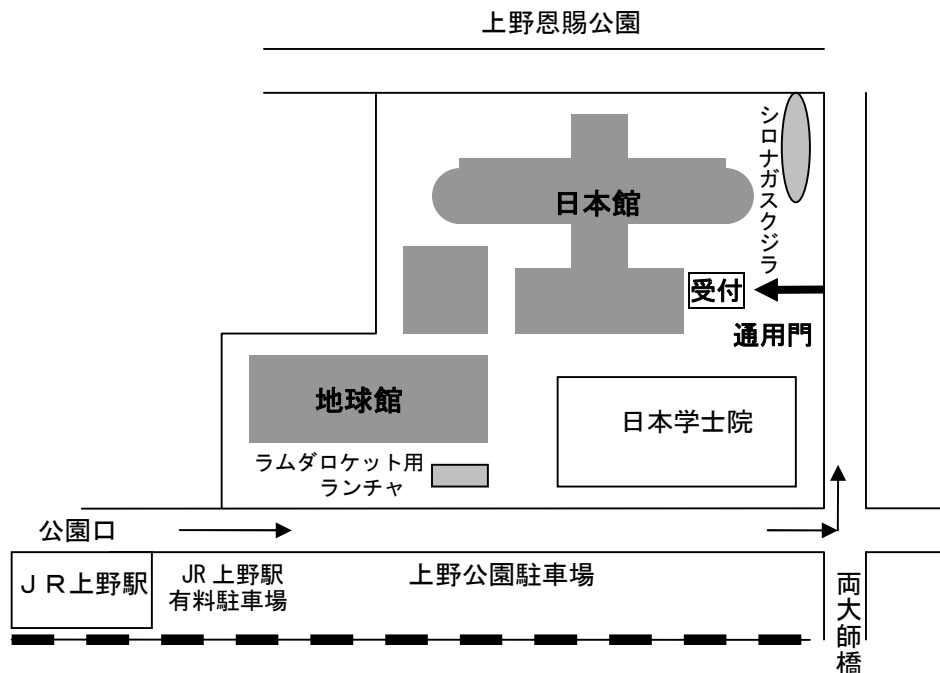
記

【日 時】 平成 26 年 10 月 14 日（火）午後 3：00～午後 5：00（受付開始午後 2:30～）

【会 場】 国立科学博物館 （東京都台東区上野公園 7-20）

【受 付 場 所】 国立科学博物館 事務棟入口 ※通用門からお入りください。

＜交通のご案内＞ JR 上野駅公園口から徒歩 5 分、東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅から徒歩 10 分、京成電鉄上野駅から徒歩 10 分 ※駐車場の用意はございません。



当日のスケジュール

午後 2 : 3 0 ~ 受付開始（受付場所：事務棟入口 ※通用門からお入りください）

午後 3 : 0 0 ~ 5 : 0 0 展覧会内覧（会場：日本館 1 階企画展示室）

- ・担当研究者が展示解説を行い、皆様からのご質問にお答えします。
- ・展示室内の撮影が可能です。

担当研究者のプロフィール



国立科学博物館 動物研究部 脊椎動物研究グループ 研究主幹
川田 伸一郎（かわだ しんいちろう）

専門分野は哺乳類分類学・遺伝学・生態学。特にモグラ類の系統分類に関して形態学的分析と核型分析を中心とした分析を行っています。また、小型から大型まで動物の標本収集活動を行ってきました。当館では陸棲哺乳類、爬虫類、両生類の標本のキュレーティングを受け持っています。



国立科学博物館 動物研究部 脊椎動物研究グループ長
山田 格（やまだ ただす）

専門分野は海棲哺乳類学・脊椎動物比較形態学。クジラ・イルカの筋肉と神経の関係を目下の研究テーマとしています。また、海岸にストランディングして死んでしまった個体を標本として研究に活用することを目指しています。

参加をご希望の方は、別紙「返信用紙」にて 1 0 月 9 日 (木) までにお知らせください。

※事前にお申し込みいただかなくても、当日ご参加できますが、大まかな人数把握をさせていただきたく存じますので、下記担当までご返信いただければ幸いです。

本件に関するお問い合わせ先

国立科学博物館 事業推進部 企画展示課 担当：吉野、土屋

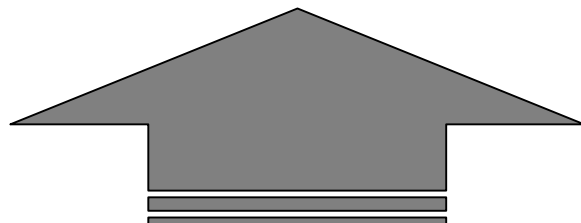
T E L 03-5814-9175、9887 F A X 03-5814-9899

〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20

E-mail:kikakuten@kahaku.go.jp

詳細は下記をご覧ください。

<http://www.kahaku.go.jp/event/2014/10yoshimoto/>



【 返 信 用 紙 】

F A X 番 号

< 0 3 - 5 8 1 4 - 9 8 9 9 >

企画展「ヨシモトコレクションの世界

～W.T. ヨシモト氏の人生の軌跡を探る～」

プレスおよび関係者内覧会 参加票

(平成26年10月14日(火) 午後3時00分～午後5時00分)

参加をご希望される方は、下記項目にご記入の上、事前にFAXにてご返信
いただければ幸いです。

お手数をおかけいたしますがよろしくお願い申し上げます。

□ご出席

貴社名 _____

貴メディア・所属部署名 _____

ご芳名 _____

連絡先

住所：〒 _____

TEL： _____ FAX： _____

メールアドレス： _____

備考 _____

ヨシモトコレクションの世界

The Yoshimoto collection and life of Yoshi

～W.T. ヨシモト氏の人生の軌跡を探る～

展示の概要

大型哺乳類の剥製およそ 400 点からなる「ヨシモトコレクション」。このコレクションを築いた「ヨシモトさん」とはいったいいかなる人物なのでしょう。

没後 10 年にあたって、ハワイで日系二世の実業家として大成功を収めたワトソン T. ヨシモト氏の生涯と、コレクションを構築した経緯について氏の残した標本・映像・写真を紹介しながら剥製 108 点を一挙に展示するとともに、国立科学博物館によるコレクションの調査研究成果を展示します。

常設展地球館 3 階の様子

ヨシモトコレクションとは？

世界各地から収集された膨大な剥製群。その詳しい内訳を紹介しコレクションの全容と科学的な意義について解説します。またコレクションには付随する様々な資料が存在しています。これらが国立科学博物館にすべて寄贈されることになった経緯と現在までの展示への利用状況について紹介します。

美しい剥製の
観察ポイントを紹介します。

ヨシモト氏が体験した多様性

ヨシモト氏は狩猟をつうじて、自然や野生生物と接することで、晩年には自然保護の思想を持つに至ります。五大大陸の旅行で芽生えた多様性へのまなざしが、残された剥製群として表れているのです。

ヨシモト氏の生涯

ハワイで 1909 年に日系二世として生まれた W.T. ヨシモト氏とはどのような人物なのでしょう。大工見習いから独学で建築を学んだ後の実業家としての成功、コレクションを構築した彼の生涯をたどります。

ヨシモト氏の遺志

ヨシモト氏が目指した自然保護の思想に基づいて行われている、W.T. ヨシモト財団の様々な活動と、国立科学博物館が財団の支援を得て行っている調査研究、普及活動を紹介します。

ご多忙とは存じますが、是非ご観覧・ご取材くださいますよう、ご案内申し上げます。

広報用写真提供

広報用として写真をご用意しております。

国立科学博物館ホームページの各種手続き・報道関係資料→写真・施設の貸出からお申し込みできます。

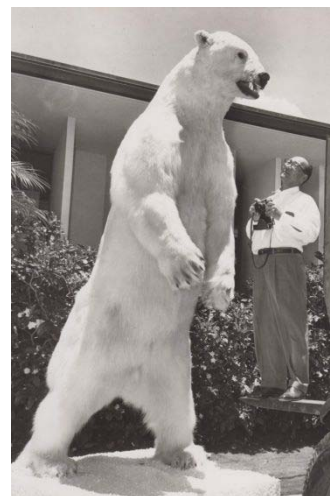
(<http://www.kahaku.go.jp/procedure/rent/index.html>)



ポスター
(ヨシモトコレクションの世界)
画像提供: 国立科学博物館



コレクションのナマケグマとヨシモト氏
画像提供: 国立科学博物館



コレクションのホッキョクグマとヨシモト氏
画像提供: 国立科学博物館



ハンティング旅行中のヨシモト氏
画像提供: 国立科学博物館



ヨシモト氏 家族写真
画像提供: 国立科学博物館



クラインバーガー社製作剥製 リーチェ
画像提供: 国立科学博物館



ヨシモト氏のコレクションルーム1972年当時
画像提供: 国立科学博物館



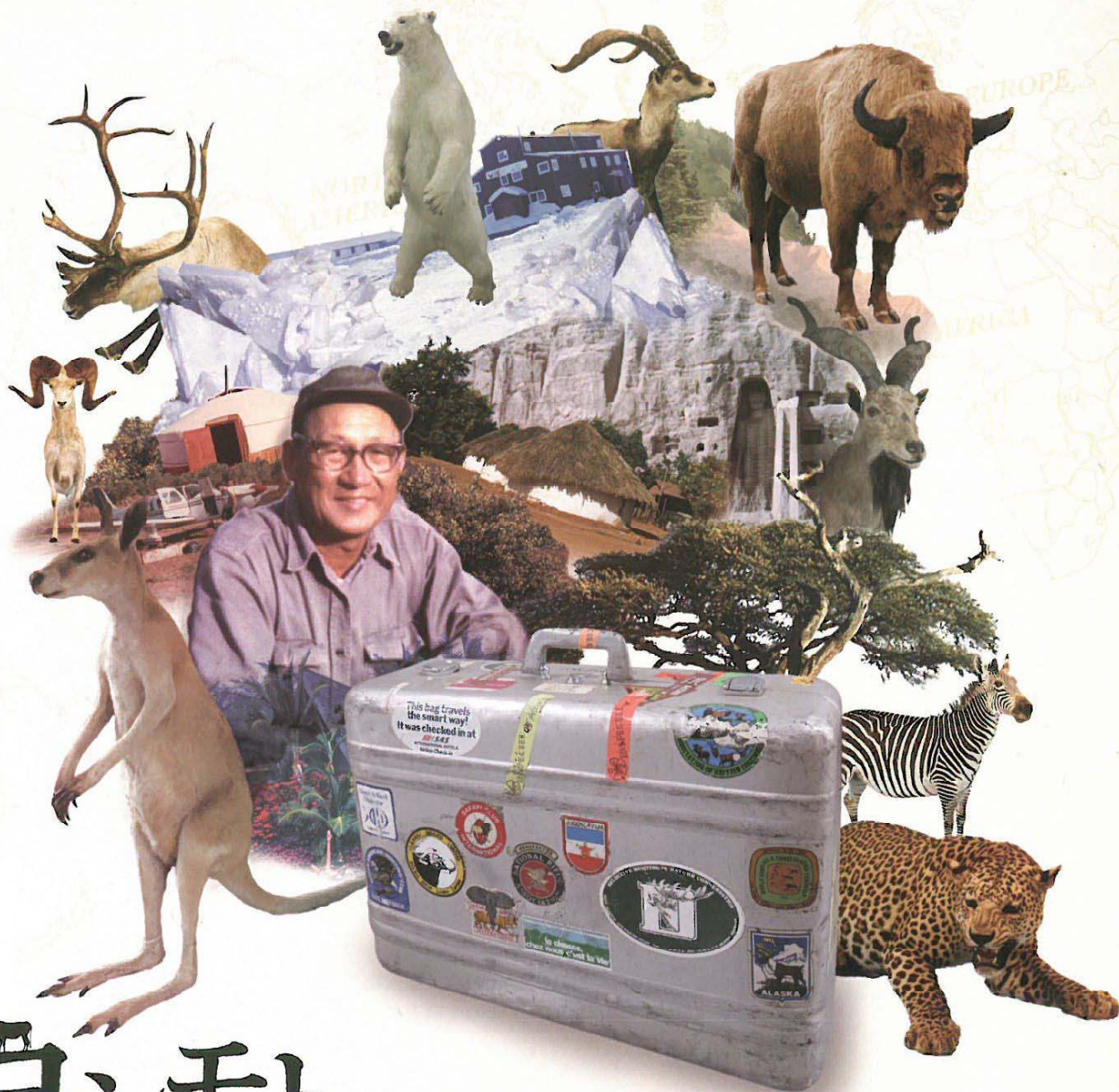
私設博物館 ワイルドライフミュージアム
画像提供: 国立科学博物館

【記事利用の際のお願い】

- * 写真使用は本展の紹介のみとさせていただきます。本展終了後の使用はできません。
- * 写真掲載時には、資料のクレジットを必ずご記載ください。
- * 展覧会の開催情報紹介欄に、会期、入館料、開館時間などの基本情報をご掲載いただく場合は確認のため、校正の段階でお送りください。(記事内容をチェックするものではありません。)
- * ご掲載いただいた場合は、掲載誌等をお送りいたしますようお願い申し上げます。

〈広報に関するお問い合わせ先〉 国立科学博物館 事業推進部 広報・常設展示課 吉野、土屋
電話 03-5814-9855、9858 FAX 03-5814-9898
E-mail: shuzai@kahaku.go.jp
〒110-8718 東京都台東区上野公園7-20

ハワイ生まれの日系二世、
彼が剥製に求めたものは？



ヨシモト コレクションの世界

The Yoshimoto collection and life of Yoshi

～W.T. ヨシモト氏の人生の軌跡を探る～

期 間 2014年 2015年
10/15(水) ▶ 1/18(日)

会 場 国立科学博物館 (東京・上野公園)
日本館1階中央ホール、企画展示室

- 開館時間／午前9時～午後5時(金曜日は午後8時まで)
※ ただし、1月2日(金)は午後5時まで。入館は各閉館時刻の30分前まで。
- 休 館 日／毎週月曜日(月曜日が祝休日の場合は翌火曜日)
12月28日(日)～1月1日(木・祝)
※ただし12月22日(月)、1月5日(月)は開館。
- 入 館 料／一般・大学生620円(団体310円)
高校生以下および65歳以上無料
- 主 催／国立科学博物館
- 協 力／W.T.ヨシモト財団
- 学術協力／東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻矢口研究室

ヨシモトコレクションの世界

The Yoshimoto collection and life of Yoshi

～W.T. ヨシモト氏の人生の軌跡を探る～

大型哺乳類の剥製およそ400点からなる「ヨシモトコレクション」。国立科学博物館の常設展地球館3階や1階で多くの来館者を惹きつけています。このコレクションを築いた「ヨシモトさん」とはいったいどんな人物なのでしょう。

没後10年にあたって、ハワイで日系二世の実業家として大成功を収めたワトソンT.ヨシモト氏の生涯と、コレクションを構築した経緯について氏の残した標本・映像・写真を紹介するとともに、国立科学博物館によるコレクションの調査研究成果をあわせて展示します。



ヨシモトコレクションとは？

世界各地から収集された膨大な剥製群。その内訳と、科学的な意義について解説します。また、コレクションには付随する様々な資料が存在しています。これらが国立科学博物館に全て寄贈されることになった経緯についても紹介します。



ヨシモト氏の生涯

今から約100年前、ハワイで日系二世として生まれ育ったW.T.ヨシモト氏とはどのような人物なのでしょう。大工見習いから実業家として成功した彼の生涯をたどります。

ヨシモト氏が体験した多様性

ヨシモト氏は狩猟をつうじて、自然や野生生物と接することで、晩年には自然保護を推進するようになります。五大大陸の旅行で芽生えた生命の多様性へのまなざしが、残された剥製群として表れているのです。



ヨシモト氏の遺志

ヨシモト氏が目指した自然保護の思想に基づいて行っている、W.T.ヨシモト財団のさまざまな活動と、国立科学博物館が財団の支援を得て行っている調査研究、普及活動を紹介します。



講演会

国立科学博物館の至宝
ヨシモトコレクションの魅力を探る

10月18日(土) 13:30～15:30

講師：国立科学博物館動物研究部 川田伸一郎
東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻 加藤恵理

※申込み方法等詳細はHPをご覧ください。

交通ガイド

- JR
「上野駅」公園口から徒歩5分
- 東京メトロ 銀座線・日比谷線
「上野駅」から徒歩10分
- 京成電鉄
「京成上野駅」から徒歩10分

※駐車場はありませんので、お車での来館はご遠慮ください。



国立科学博物館
National Museum of Nature and Science
〒110-8718 東京都台東区上野公園7-20
TEL:ハローダイヤル:03-5777-8600

国立科学博物館
モバイルサイト

<http://www.kahaku.go.jp/>

